

XD-A 利用申請書

1 研究の意義と目的

2 研究計画と方法

3 計算コードの準備状況

3.1 計算コードの開発と最適化状況

3.2 必要な計算資源の見込み

	システム M	システム P
ノード時間積 (k nodes × hours)	–	–
ノード当たりのメモリ量 (GB/node)	–	–

4 第1-3節で引用された文献

5 これまでの研究成果

5.1 CfCA の共同利用計算機を利用した成果

5.2 他機関の計算機設備等を利用した成果